

■ 赤塚四・五丁目地区景観まちづくりについて

(1) 検討区域



- 面積
約 0.38 km²
- 現状
 - ・赤塚溜池公園、赤塚公園を中心とする崖線と、その周辺に点在する寺社仏閣を区域内に含む。
 - ・農地や緑が豊かであり、自然と調和した街並みの形成が必要。
 - ・建売住宅の計画に伴うミニ開発が進み、良好な住環境の保全が課題。

(2) 専門家による地元支援

コンサルタント委託により、地元支援を行う。

株式会社 地域計画建築研究所 (アルパック) 東京事務所

- ・本社：京都市下京区 (東京事務所：東京都千代田区内神田)
 - ・代表取締役 中塚 一 (東京事務所長：坂井 信行)
 - ・設立 昭和42年8月
 - ・実績
 - 東京都 景観施策のあり方検討
 - 八王子市 八王子駅周辺地区景観の手引き作成及び屋外広告物地域ルール検討
 - 品川区 水辺景観の眺望点抽出業務
 - 戸田市・川崎市 景観計画見直し業務
- など

(3) 取組み予定

●地元勉強会、ワークショップ等

- ・R5.8.6 プレイベント（勉強会参加者の発掘、取組みの周知）
- ・R5.10頃～ 勉強会3回程度（まちの課題・景観資源の確認、景観まちづくりプラン骨子の検討）
- ・R6年度以降 勉強会3回程度（景観まちづくりプランの検討）

●意向調査

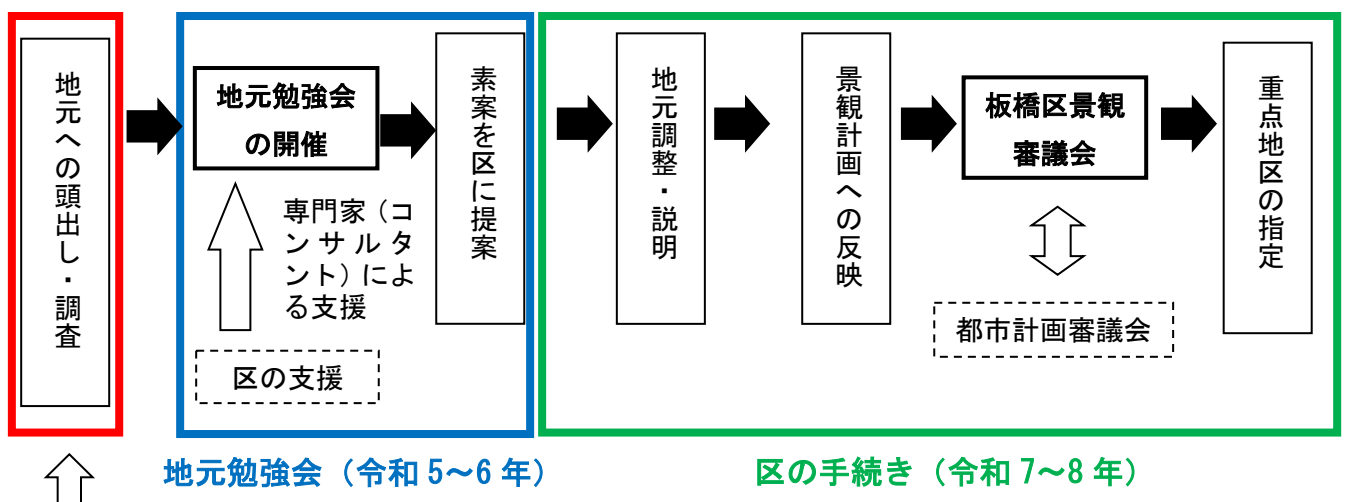
- ・地域住民（約3300戸）を対象とした景観まちづくりに関するアンケート調査を予定

●まちづくりニュース発行

- ・計2回発行済み（地区内の居住者、区関係者、区イベント等で配布）
⇒『赤塚四・五丁目地区景観まちづくりニュース vol.1、vol.2』
（参考資料 1-1、1-2）
- ・勉強会の進捗に合わせ追加発行の予定

(4) 今後の予定

- ・今後、地元勉強会・ワークショップ等を中心として、地元素案『(仮称)景観まちづくりプラン』を検討する。
⇒令和5年度 景観まちづくりプラン（骨子）の検討
令和6年度 景観まちづくりプラン（素案）の検討
令和8年度末までに、景観形成重点地区として指定予定



●令和4年度

- ・地元町会、勉強会挨拶、頭出し
- ・まちづくりニュース配布(2回)

< 8月6日プレイベントの様子 >



↑周知チラシ



↑地形模型をみてクイズに答える様子



↑赤塚の歴史や暮らしにまつわる古写真等を展示